わたしがコースを選ぶまで

実に様々なコースが存在する市大文学部
先輩方はどのようにして、自分の進むコースを
選んだのだろうか

高校で倫理に興味を持ったので、哲学コースに進みたい気持ちがありました。そのほか日本史がずっと好きだったのと、日本の古典を読むのも好きだったので、日本史コースと国語国文学コースも志望コースに入っていました。

授業を受けたりコースガイダンスに参加したりするうちに、日本史コースや国語国文学コースの手法は自分にはあまり向かないのではないかと思うようになりました。また、哲学コースの授業は難しく感じられたこともあり、コース選択後の学びについていけるかどうか、自信を失いつつありました。

そんなとき、哲学の中の美学という分野に関心を持ち始めました。同じような環境で生きていたとしても、何を美しいと感じるかは人それぞれです。だとすれば、「美」ってそもそも何なんだろう？　このような問いが新しい興味の対象になりました。夏季休暇に入ってからは哲学の入門書などを調べて読み、哲学の文献が自分の肌にあっていると感じられたことが大きな決め手となりました。

4月
入学・前期開始

6月
第1回
コースガイダンス
学生による
コースガイダンス

8月
夏季休暇開始
9月
第2回
コースガイダンス

10月
後期開始

11月
学生による
コースガイダンス

12月
学科・コース志望届提出
1月
コース決定！

哲学コース　2回生
さいとう　あやか
齊藤　礼華　さん

社会学コース　2回生
ふくもと　かずま
福本　一真　さん

ジェンダー、特に婚活などの恋愛市場における「人」に興味があり、当初より社会学コースに行きたいと思っていました。入学後、1回生のときにコース選択があることを知り、他のコースの授業も受けたのですが、このとき表現文化コースでもやりたいことができるのではないかと思いました。

自分がどのコースに向いているかを知るため、授業を受けたり先輩から話を聞いたりしているうちに、表現文化は作品分析、社会学は量的・質的調査と いったように、コースごとに特徴的な手法があることを知りました。自分の中でやりたいことははっきりしていたのですが、社会学コースの調査方法がやはり自分にはフィットしているように思え、このことが最終的な決め手となりました。

この頃には、社会学コースが第1志望として固まっていました。いろいろな授業に参加したことは、自分に適したコースを判断するうえでとても有用だったと実感しています。

特任教員紹介

※2019年8月現在

○ドイツ語フランス語圏言語文化コース
神竹　道士　特任教授
ジモン・エルトレ　特任講師
ロラン・バレイユ　特任講師

○表現文化コース
江村　公　特任講師
○都市文化研究センター
石川　優　特任助教

○都市研究プラザ
沼田　里衣　テニュアトラック特任准教授
○全学教職課程特任教員
小原　淳一　特任講師

「1号館」左右対称な形と中央に伸びている時計のかかった塔が印象的な建物で、昭和初期モダニズム建築です。
文学部の学生が授業でよく訪れる建物でもあります。

学　文　2019年8月10日（土）

学生放談

大学生活は自由が増える

1回生　自宅生
しゃくど　ひな
赤土　陽菜さん

―大学に入ってから変わったことはありますか

まず、一日の活動時間が大きく変わりました。朝も早くなりましたし、家に帰る時間も遅くなりました。もともと私は高校までは部活をしておらず、外部でクラシックバレエをしていました。そのため、今までは学校が終わったらすぐに家に帰って、その後練習に向かっていました。

しかし、今は朝早くから家を出て、そのままバイトやサークルに行ってから帰ります。また、週に数回はサークルやバイトのない日も確保しています。このように、生活のリズムや一日の密度がかなり変わったと思います。また、バイト・サークル・学校の予定を自分で調節したり、お金についても自分でやりくりしたりするなど、今までやってこなかったこともたくさん経験することになりました。大変なことも多いです。反面、自由にできることも増えたので楽しく感じています。

―大学で楽しく思うことがあれば教えてください

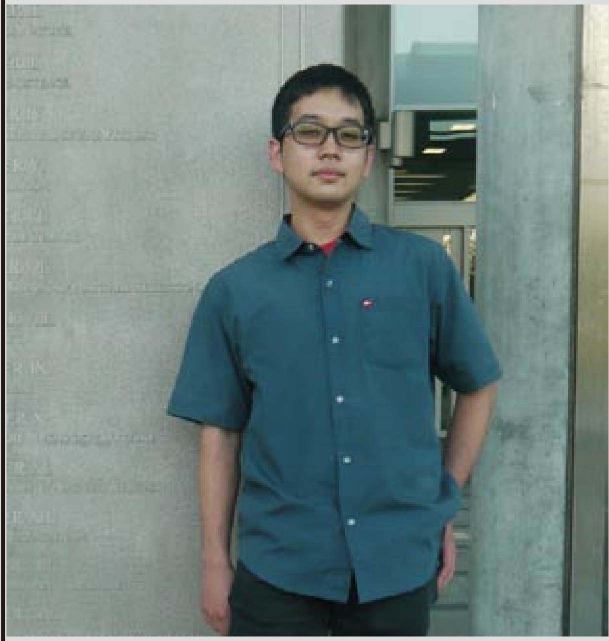
まず、いろいろな人と話す機会が増えたことです。たとえば全学共通科目の授業やサークルでは、他学部の人ともかかわる機会が多く、学部によって人の雰囲気や話す内容が全く異なるのもおもしろいと思います。

また、高校のときには、少しの休み時間をはさんで授業が連続で行なわれていましたが、大学では自由な時間も増えたので、友人と一緒にすごす時間が増えたことも楽しく思います。

	月	火	水	木	金
1	Freshman English I	言語文化概論 I	ﾌﾗﾝｽ語基礎 II	言語文化概論 II	人間行動学概論 I
2	ﾌﾗﾝｽ語基礎 I	体力ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学	Freshman English II	AE: TOEFL I	
3	情報基礎	文化人類学入門		文学部基礎演習 c	
4	情報基礎	ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ 1		現代科学と人間	ﾌﾗﾝｽ語応用 I
5					日本国憲法

6:00　起床
7:15　出発
8:55 ～ 17:00　授業
19:00 ～ 22:00　バイト
0:30　就寝

下宿生活は大変だが楽しい



表現文化コース　3回生　下宿生
やべ　りゅうご
矢部　龍五さん

―下宿生活のエピソードを教えてください

一人なので誰の目も気にしなくていいのが利点ですね。家事は一人分なのでそこまで手間はかかりませんし、料理も手を抜こうと思えばいくらでも抜けます　笑。その代わり料理のレパートリーは全然増えません。オムレツと鶏肉を焼いたものぐらいしかできません。でも、スーパーには料理キットも売っていますし、貰い物のスロークッカーもあるので、何とかなっています。たとえば、カレーを作りたいときはスロークッカーに材料を入れるだけで完成するので便利ですよ。高価なものなのでさすがに自分では買えませんけど……。あと持っていると便利なのはプリンターですね。授業のレポートやレジュメを印刷するのにいちいちコンビニ行くとなると手間なので、自宅で印刷できた方が楽です。下宿で大変なのは掃除とお金のやりくりですかね……。掃除はキッチン回りが特に大変で、コンロの上の油汚れは放っておくと拭くどころか削る勢いでやらなきゃいけないので、こまめに掃除しなければなりません　笑。

お金のやりくりに関しては本当に大変です。すぐ生活費がカツカツになってしまいます。実家の仕送りのレトルトで済ませるとなると厳しいですね。味は一緒ですし、お腹にもあんまり溜まらないし　笑。ただ、一人だし、となるので一人暮らしも案外どうにかなりますよ。

―今楽しいことは何ですか

3回生になって授業の課題が増えたので、なかなか遊ぶ時間はとれません。だけど、日曜日だけは必ず遊びに行くようにしています。バイトも一切入れず、週に一回だけの楽しみです　笑。あとはバイトですね。マンガやアニメのグッズを取り扱っている、ユーズドショップで働いていますが、掘り出し物を見つけたりするとものすごく楽しいです。自分に合った職場が見つかり、ありがたいですね。外国人のお客様が多いのですが、ほとんどの方はフレンドリーなので苦にはなりません。

バイトの後にナイトショーに行くのも楽しみの一つです。個人的に好きなのは洋画とかアニメ映画で、ノンフィクションの戦争映画なんかもよく観に行きます。

8:00　起床
10:30　出発
10:50 ～ 15:00　授業
16:30 ～ 21:00　バイト
1:00　就寝

	月	火	水	木	金
1					
2		文化理論特別演習 a	地誌学 I	心理学概論 I	地理学概論 II
3		表象文化論特論		表象文化論	
4	国語学基礎論	美学概論 I	ﾌﾗﾝｽ語圏文化論		
5					

Quiz　文学部の学生が履修できる（受けることができる）授業の数は？